

こうげ 77 議会

2025.2

力をあわせて



▲南吉富小学校

令和6年 第4回 定例会(12月議会)

会期：令和6年12月3日(火)～13日(金)

●令和6年度 一般会計補正予算 鳥獣捕獲報償金の増額など	3548万円を追加！	2
●令和6年第4回・第5回 臨時会		3
ふかぼり！特集 道の駅「しんよしみ」の今後は		4
●議案議決結果及び議員別賛否一覧表		5
一般質問 ここが聞きたい！8人登壇		6
報告 議員全員研修		14
町村議会1期目議員等研修会・町村議会広報研修会		15
●住民登場コーナー・表紙によせて・議会傍聴のご案内・編集後記		16

住民登場コーナー interviewer 岩花 寛之

しめ縄を編んで70年 山の手仕事を次世代へ

西友枝たけのこクラブ 代表

木下 貞夫さん(西友枝)

- Q 10月の小屋入り(しめ縄作りのスタート)から12月末まで大忙しでしたね？
- A 材料となる餅米のワラ干しから始まり、編み上げを行い、仕上げの紙垂(白い紙)の取り付けまで、毎日4、5人が5時間ほど流れ作業でしめ縄を作り続けました。指先がボロボロですが、毎日みんなで笑話をしながら楽しく作りました。
- Q 主にどんな所からどのような種類の注文があるのですか？
- A 上毛町内をはじめ、近隣の中津市や豊前市、遠くは戸畑まで、神社や個人宅だけでなく青果市場からも注文があります。神社に奉納する太巻きの“大なわ”や、玄関や神社の境内に飾る“小なわ”、海老や鶴といった飾り物を作っています。
- Q しめ縄作りで特に気を付けられていることはありますか？
- A 丁寧に形よく作るのはもちろんですが、一番気を遣うのは注文と間違いない長さや数量を期日までにキチンと納品することです。今回は秋に長雨が続き、材料の手配や天日干しが大変でした。



- Q 中学生の時から70年作られているそうですが、どんな思いで作られていますか？
- A 40年くらい前までは西友枝でも数10軒作っていて、中津の寿屋や駅前に売りに行っていたことを懐かしく思います。だんだん作る人が少なくなって、今では上毛町でも数えるほどですが、若手も手伝ってくれるようになり、山の手仕事を次世代に引き継いでいきたいと思っています。
- Q 議会に対してご意見などありますか？
- A 過疎が進んできましたが、農業や林業を頑張っている人もいます。活性化できるようサポートして少しでも山に活気を取り戻してほしいと思います。

表紙によせて

楽しいお餅つき！

毎年、南吉富小学校では、地域の方々(保護者、食育ボランティアなど)のご協力により、杵つき餅を楽しんでいます。今年は、約20kgのお餅を全校児童でつきあげ、お世話になった方々にもプレゼントされました。みんなでかけ声(いち、にい、さん)を掛ける姿は微笑ましいものでした。



議会傍聴のご案内

3月定例会の予定

3月4日(火) 午前10時

本会議(開会、議案の説明・質疑)

3月6日(木) 午前10時

本会議(一般質問)

3月14日(金) 午前10時

本会議(討論・採決)

日程については、変更になる場合があります。

会期日程は、議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

■開催場所 上毛町役場大平支所2F議場

編集後記

田中 唯登志

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。今年も地域の皆様にとって有意義な議会広報をお届けできるよう、広報委員一同努力してまいります。

新たな一年が始まり、町の未来を見据えた議論や提案が求められる時期でもあります。議会としては、住民の皆様との対話を大切に、皆様の声を政策に反映するため、さらに開けた議会を目指してまいります。また、定期的に議会の活動や進捗状況をお伝えし、透明性を確保することに努めて参ります。

今年も町民の皆様がより安心して暮らせる環境づくりに向け、議会一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

■議会広報特別委員会

委員長：三田 敏和 副委員長：高西 正人

委員：田中 唯登志、廣崎 誠治、岩花 寛之、大石 光一、渡辺 哲也

●ご意見・ご感想をお寄せください(FAX 0979-72-2033)

✉ gikai@town.koge.lg.jp



令和6年第4回臨時会

10月24日(木)に1日の会期で開催され、専決処分1件、補正予算1件の計2案件を慎重に審議し、すべて可決しました。

専決処分

- 第50回衆議院議員総選挙関係経費

565万円

補正予算

4130万円

- 台風10号災害復旧事業

農地災害復旧工事費(4カ所)	230万円
農業用施設災害復旧工事費(10カ所)	1020万円
林業施設災害復旧工事費(林道5路線)	500万円
道路橋梁災害復旧工事費(4カ所)	1480万円
河川災害復旧工事費(1カ所)	50万円
牛頭天王公園照明灯取替工事費	65万円



令和6年第5回臨時会

12月26日(木)に1日の会期で開催され、補正予算5件、条例改正2件の計7案件を慎重に審議し、すべて可決しました。

一般会計補正予算

7027万円

- 物価高対策低所得世帯支援給付金
4094万円増額

低所得世帯の消費支出に対する物価高の影響のうち、賃上げや年金物価スライドで賄いきれない分をカバーするために給付。

- ①住民税非課税となる世帯
 - 給付金額:3万円(世帯)
 - 対象世帯:1200世帯程度
 - ②住民税非課税となる世帯のうち18歳以下の子ども
 - 給付金額:2万円(人)
 - 対象人数:200人程度
- ※①に②を加算して給付

人事院勧告に伴う給与改定

- 国民健康保険特別会計補正予算
14万円増額

- 後期高齢者医療特別会計補正予算
47万円増額

- 農業集落排水事業会計補正予算
45万円減額

- 簡易水道事業会計補正予算
19万円増額

条例改正

- 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

令和6年第4回定例会

一般会計

鳥獣捕獲報奨金の増額など

補正予算

総額

3548万円追加

12月3日(火)から13日(金)までの11日間の会期で開催され、人事案件1件、補正予算1件、条例改正2件、その他1件の計5案件を慎重に審議し、すべて可決しました。主な結果は以下のとおりです。

一般会計補正予算 3548万円

- ナガレ・堂ノ本線道路改良工事費
1850万円

- 鳥獣捕獲(イノシシ・シカ)報償金
捕獲数増加に伴い、見込みを460頭から640頭に増加したため。
90万円

- 西吉富コミュニティセンター研修室
空調修繕費
74万円

人事案件

- 上毛町教育委員会委員の任命
委員:皆尺寺 敏紀 氏

条例改正

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 上毛町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

道の駅しんよしとみの指定管理者の指定

指定管理者	しんよしとみ街づくり有限会社
指定期間	令和7年4月1日から 令和9年3月31日までの2年間
指定管理料	1700万円(850万円/年)



【質疑】

- 問 ここの3年間赤字であり、今後2年以内に大型商業施設が来て経営状況は非常に悪化する恐れがある。具体的な策は。
- 答 道の駅でしか買えない商品、イベント、体験、アクティビティなど直売所としての機能だけでなく、道の駅の魅力向上を図るため、指定管理者と今後について協議している。
- 問 今期中間であるが、赤字になっており、このままでは、資本金を食い潰す可能性が非常に高いことが懸念される。早く具体的な検討、策を提示していただきたい。
- 答 ふるさと納税が低迷している中、黒字の状況であるフィエロに力を入れる。物産館においては、抜本的な改革が必要と考える。厳しいとの指摘もあるが、しっかり見極めながら、何がベストなのかを考えながら改善していきたい。
- 問 指定管理料は850万円から10年ほど変わっていない。指定管理料は上げるべきではないか。
- 答 物価高騰などの影響で経費が増えているが、削減に努めてもらい、指定管理料の変更は現在考えていない。
- 問 体育館新設や「大型商業施設のオープン」をうまく活用し、道の駅を存続させていって欲しいが見解は。
- 答 大型商業施設がオープンしてどうなるのか、このまま立て直しが出来るのか。抜本的な改革が必要と思うので、しっかり見極めたい。
- 問 出荷商品も新たに見直しの検討が必要と思うが見解は。
- 答 委託販売商品(利益率19%)、買取商品(利益率約10%)などに置き変えていくことで、利益を改善していく取り組みを現在している。

臨時会							定例会					臨時会		議案名	令和6年第4回臨時会、第4回定例会、第5回臨時会議案議決結果及び議員別賛否一覧表
議案第57号	議案第56号	議案第55号	議案第54号	議案第53号	議案第52号	議案第51号	議案第50号	議案第49号	議案第48号	議案第47号	同意第4号	議案第46号	議案第45号		
令和6年度上毛町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	令和6年度上毛町農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	令和6年度上毛町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	令和6年度上毛町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	令和6年度上毛町一般会計補正予算(第8号)	上毛町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	上毛町特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について	令和6年度上毛町一般会計補正予算(第7号)	指定管理者の指定について(道の駅しんよしみ)	上毛町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	上毛町教育委員会委員の任命について	令和6年度上毛町一般会計補正予算(第6号)	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度上毛町一般会計補正予算(第5号))		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	渡辺 哲也	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大石 光一	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高西 正人	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	岩花 寛之	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	廣崎 誠治	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮本理一郎	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮崎 昌宗	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	峯 新一	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	三田 敏和	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	茂呂 孝志	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	田中唯登志	
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	同意	可決	承認	議決結果	

※議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席

特集

道の駅「しんよしみ」の今後は

ふかぼり!!

令和6年第4回定例会において、道の駅「しんよしみ」の指定管理者の指定について審議しました。指定管理料(年間850万円)、指定管理者は「しんよしみ街づくり有限会社」、指定期間(令和7年度～令和8年度)審議内容を特集しました。

What is 道の駅？

道の駅は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、道の駅をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」を併せ持つ休憩施設です。令和6年8月時点で、全国1221駅にのぼります。しかし、現在、設備投資にかかる費用負担、売上の減少、出荷者の高齢化などにより約3割が赤字に苦しんでいる実態があります。

我が町の「道の駅しんよしみ」はどうでしょうか！

物産館客数
フィエロ+ふるさと納税
物産館売上

売上ピーク道の駅なかつ(平成14年度)
指定管理制度導入(平成18年度)
ふるさと納税開始月(平成28年度)
ふるさと納税ピーク(平成30年度)
基準見直し(令和元年度)
ふるさと納税(令和2～3年度)
コロナ禍(令和2～3年度)
3期連続赤字(令和3～5年度)

平成15年をピークに来客数の減少に伴い、売上高も下降線をたどっています。その間、コスモス畑の整備や設備の入れ替えなどを行いました。近隣同様施設や大型商業施設のオープン、東九州自動車道の開通などで来客数は下降線をたどりまし。平成28年度、ふるさと納税の出品やピッツァフィエロのOPENが転機で数年は黒字経営となりましたが、コロナの影響や、ふるさと納税の低迷で赤字経営が続いています。物産館の売上だけでは、経営危機は免れない状態です。

客数増には、道の駅へ立ち寄り目的(花公園)整備が効果的と考えている。 駅長 相良 康德さん

- H29.30年度、ふるさと納税を導入し好調に推移したが、制度が変わり厳しい。
- 地元生産者の高齢化や新規生産者が増えないなか、お弁当、お土産などの町外出荷者を増やしている。
- 物産館の手数料収入の内訳として、町内70万円／月、町外140万円／月、仕入商品40万円／月程度で赤字の状態が続いている。
- 集客数を増やす手立てとして、様々な形態のイベントを開催、また各地の道の駅との交流により、特産品の出荷品目の拡充や、他に取扱いのない魅力ある商品の確保に務めている。
- 現在、道の駅独自でひまわり、コスモス、菜の花の花公園の整備により、見学者が増えている。道の駅への集客数の増加に繋げたい。

5

こうげまち 議会だより 2025年2月号

こうげまち 議会だより 2025年2月号

4



宮本 理一郎 議員

災害時の対応は

町長

ワンストップの対応とケースバイケースで

指定者	管理者	種 別	町内河川数	主な河川
国	国	一級河川	1 河川	山国川
国	県	一級河川	6 河川	黒川、友枝川等
県	県	二級河川	1 河川	佐井川
町	町	準用河川	9 河川	岩瀬川、野地川等
上記以外の河川で町が指定し管理するもの			20河川	御在所川、北谷川等
合 計			37河川	

図本町の二級河川を含めた中小河川の詳細は、建設課長表のとおり。

は。ため池と農業用ため池の数は、産業振興課長 ため池は103池あり、その全てが農業用ため池である。

ため池の管理は

図住居地と隣接する河川の護岸整備は、建設課長 山間部の一部を除き、自治会からの要望と、県土整備事務所への要望等で、既に整備されていると判断している。



図町内37河川の災害発生リスクの把握は、建設課長 防災マップを作成し、想定される最大規模の降雨による浸水時の想定水深を示している。

図本町の町有林面積は、森林全体面積の何%か。産業振興課長 町全体の森林面積は3808ha、そのうち

町有林の保護、管理は

▶大ノ瀬大池



図管理はどのようになっているか。産業振興課長 2つの池は吉富町の管轄、残りの101の池は、上毛町、一部事務組合、自治会や水利組合の管轄で、ほとんどの池を水利受益者が管理している。

図町有林の管理監督はどこが行っているか。産業振興課長 産業振興課が担当課であり、委託先の森林組合などが、毎年、下刈りや間伐を行っている。
図自然災害対策としての山林、森林の保水能力の有効性は誰かが認めることだが、保護管理を徹底するべきでは。町長 森林、ため池や河川が災害や緊急事態の拡大原因にならないように保護管理を徹底し、産廃の山にすることなく、宝の山にすべく、地域の安全安心と地産地消も含めて取り組んで行く。

「一般質問」とは

町の行財政全般にわたって、執行機関(町政)に対し、一般事務や将来の方針などについて質問し、所信を求めることです。町民の生活に関わる身近なことが、議員の一般質問により、改善されたり新たな事業が始まったこともあります。

議員は年4回の定例会で一般質問をすることができ、定例会開会前にあらかじめ質問内容を提出し、執行機関が答弁を考えます。質問する議員一人につき60分の持ち時間があり、その時間内であれば何回でも質問を繰り返すことができます。

全文詳細はHPに後日会議録として掲載されますのでご覧ください。

一般質問
ここが聞きたい!

第4回定例会一般質問(12月5日(木))

田中 唯登志 議員

農産物ブランド化への取組は

産業振興課長 今後も様々な開発を行っていく



図特産物開発の現状は。産業振興課長 現在レモン、かぼちゃなどは特産物として開発を行っている。レモンに関しては、レモンケーキ・レモンタルト・レモンの果汁などを開発し、道の駅などで販売している。かぼちゃに関しては特産物になりうるレシビの開発を現在行っている状況である。

図産業振興課に専門職員の配置の考えは。産業振興課長 農産物のブランド化を行う際に、農産物の作付面積を増やすことや栽培方法を確立すること、また加工品の開発も重要である。そのため専門職員の配置は重要だと考える。人材の確保などが今後の緊急課題と考えている。

図販路拡大の取組は。産業振興課長 それぞれの特産物の魅力を伝え、販路拡大に努めている。東京の日本橋、小倉駅、福岡市天神中央公園、県庁ロビーなどで行われるイベントへの出店や、東京・関西・中京の福岡県人会の総会に上毛

町特産品をお土産として提供することで、会報誌にも取り上げられるなど、上毛町特産品の知名度アップの取り組みを実施している。また、近隣の飲食店に上毛町産のかぼちゃなどのPRを実施している。さらに東京ハイアットリージェンシーの総料理長と面会し、上毛産かぼちゃやレモンのPRを行った。今後も販路拡大のため様々な取り組みを実施していく。



▶上毛のレモンを使ったタルト

図民間企業と連携して農業法人の立ち上げは。産業振興課長 当町では農業者の高齢化による離農が課題の一つであり、農業就労者の確保の観点からみれば、民間企業の参入は課題解決に価値があると考える。そのため、民間企業の参入希望があれば、随時、側面的な支援を行いたいと思っています。農場法人立上げについても、近隣市町や全国的な先見事例を参考に、今後検討していく必要があると考える。

農業法人化は

▶近年、作付けを増やしているETかぼちゃ





三田 敏和 議員

柵の地際補強、町の対応は

産業振興課長 ▶ 平成28年度以降は補助要件に該当

園国の交付金などで柵の設置を推進しているが実績は。産業振興課長 平成24年から開始、総事業約8200万円をかけ、耕作面積の約4割(319㎡)で実施し、農作物の被害が減少している。

園上毛町の基幹産業は農林業だが、被害に対する町の方策は。産業振興課長 農業振興連絡協議会や町から、被害の注意喚起などをLINE、回覧で情報提供を行っている。また、農業経営収入保険事業の支援や有害鳥獣捕獲活動として、箱罾の貸出しを行っている。

園農産物の被害状況は。産業振興課長 今年度、麦類は赤カビ病と黄斑病、水稲は干ばつや猪などによる被害があり、現在集計中である。ここ2年鳥獣被害が多い。

農業振興の取り組みは

園近年、地際が補強された柵が普及しているが、町の対応は。産業振興課長 平成28年度以降は補助要件に該当する。要望により、対応を検討する。

園平成27年以前の地際対応は。産業振興課長 地域の自己更新となるが、今後の検討課題にしたい。

園効果的な被害防止は農地周辺の里山の環境整備が必要と考えるが、対応は。産業振興課長 境界周辺の除草、耕作放棄地の解消など、鳥獣を寄せ付けない地域ぐるみの活動が必要であり、周知啓発に努めたい。

園被害防止にICTの活用も国の補助要件になっているが、導入の検討は。産業振興課長 生息数、生息域など被害防止に繋がるか検討したい。まずは捕獲を優先したい。

宮崎 昌宗 議員

新体育館に期待することは

教務課長 ▶ 交流を生み出す活動拠点に



新体育館の現状は

園新体育館が利用開始され1年が経過したが、その現状は。教務課長 昨年8月開館から本年10月末時点で、施設利用者は9万人を超えている。

園管理者によるイベントなどの開催実績は。教務課長 前年度は3回開催し、2995名の参加。本年度は、10月末時点で7回開催し、6625名の参加である。

園喫茶スペースの運営状況は。教務課長 イベント開催時に、飲食店などによる軽食の販売を行っている。平常時は、誰もが気軽に飲食できるスペースとして利用されている。今後は、商工会その他事業所などの誘致を含め、活用を検討している。



▶上毛町商工会青年部が企画した「こうげドリムキッズランド」



▶ループアリーナ2階喫茶スペース

園会場の予約開始が4ヶ月前だと大きなイベントを企画しづらい。期間を検討すべきでは。教務課長 条例規則に基づき、町内3保育園のように教育委員会が特に必要と認める場合もある。

園他の団体などはどういう考えで判断するのか。教育長 個別の状況に応じて、庁内で協議し、対応していきたい。

園コミュニティ型の体育館として、これから期待すること。教務課長 人口が増え、幅広い世代の交流を生み出し、連携や協働を深め、町民の活動拠点となるよう期待する。

小学校プールの対応策は

園令和5年3月議会で、小学校プールの老朽化問題を質問した。その後、庁内で協議は行

ICT教育の現状は

園タブレット端末の活用実績は。教務課長 調べ物学習、視覚的な学習、協働学習、個別最適な学習など多様な学習に活用している。

園授業時間において、どの程度の活用か。教育長 時間換算は難しいが、全ての教科、領域で使用している。本年、教科書改訂でQRコードが多くの教科で採用され、使用機会が増えている。

園デジタル教科書の活用は。教育長 県の事業を活用し、小学校は国語、英語、中学では、数学、英語で採用している。

園不登校、保健室などの学びの現状は。教育長 教室とネットで繋ぎ授業を受けている。徐々に学級に戻れる効果も出ている。

園教職員の負担の軽減は。



れたのか。

教務課長 検討は行ったが、具体的な結論には至っていない。

園どこかで決断が必要では。

町長 将来あるべき姿を想像し、優先順位や予算などを勘案し、しっかりと進めたい。もう少し時間をいただきたい。



教育長 授業以外での軽減が図られ、子どもと向き合う時間が少しづつ確保出来てきている。

住民健診の現状は

園住民健診、集団健診など、同じような名称があり分かりづらいが。子ども未来課長 今年度から住民健診に統一している。

園日程が合わない方の対応は。子ども未来課長 今年度は、偶発的なことが重なり、2度延期したが、住民健診は大人数で行うため、スケジュールリットが出て健診料が安価になっている。なるべく利用していただきたいが、懸案事項と考えている。



茂呂 孝志 議員

マイナ保険証、暗証番号の取扱は

住民課長 本人の委任で問題はない

長寿福祉課長 過去の診療情報の確認が、他の医療機関でも同様に照会が出来るとともに、複数の病院を受診する場合でも、医療情報が共有できる。

高齢者施設・障害施設に入所の方や、自宅にいても自分で再発行の手続きに行けない方の対応は。



建設課長 県道三路線で指摘があり、京築県土整備事務所に要望を行っている。まだ未整備なので、引き続き要望を重ねていく。

建設課長 国の水道耐震化指針に基づき、平成20年以降、緒方、成恒、土佐井（新谷・下田井）で整備を行っている。

上水道の耐震化は

重要施設だが、施設に繋がる接続管の耐震化状況は。

総務課長 住民がより利用しやすい公共交通になるよう、現在検討をしている。

コミュニティバスの運行は

園新吉富線で、午前中にげんきの杜に行く場合、垂水地区は1便（他地区は2便）なので、増便する考えは。

来年度の給食費無償化は

園来年度も物価高騰が予想されている。今後も給食の質を落とすことなく、給食費無償化の実施について、町の考えは。

教務課長 給食費無償化に充当可能な交付金があれば、財政協議のうえ、活用を検討したい。

通学路の整備は

園通学路で雨天の場合、児童に水しぶきが飛び散る箇所が見受けられる。関係者からの改善要望の状況と対応は。

教務課長 通学路の安全確保のため、保護者や地域の代表者などが参加して、危険箇所について年2回協議している。

渡辺 哲也 議員

今後の介護予防事業は

町長 幅広い年齢層で進めていく



介護予防事業の現状と課題は

園本町のフレイルに関する基本的な考えは。

長寿福祉課長 健康寿命のまちづくりを目標に、大きな柱として位置づけている。高齢者の心身の健康を維持することで、要介護状態にならずに、可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう取り組んでいる。

園本町の介護認定新規認定者の心身の状態は。

長寿福祉課長 認定に至る原因疾患は認知症が最も多く約



フレイルチェックの様子

園フレイルに関する取り組み内容は。

長寿福祉課長 各地区のサロンなどでのフレイルチェック、上毛いきいき塾（ノルディックウォーク講座）、上毛いきいき体操の普及を行なっている。また、認知症予防では、認知症力フェ、脳の健康教室を実施している。

園本町の介護認定新規認定者の心身の状態は。

長寿福祉課長 認定に至る原因疾患は認知症が最も多く約

園フレイル事業の参加数は。

長寿福祉課長 今年度、フレイルチェックは6か所のサロンで実施し、80歳以上の方が延べ86名参加している。

園フレイル事業の課題は。

長寿福祉課長 フレイル予防は、心身の状態が衰え始める初期段階に行い、健康寿命を維持することを目的としている。今は50から70歳代の方に

に対して、興味を持ってもらい、予防に取り組んでもらえるような仕掛けを作っていきたい。

園住民主体のサロン活動に

するサポートは。

長寿福祉課長 各地区のサロン立ち上げや、活動奨励金の交付を行なっている。また、医師会や医療機関の出前講座の紹介、フレイルチェックや健康教室、栄養指導を行なっている。

園有償ボランティアや活動参加ポイント制度などの検討は。

長寿福祉課長 今後、検討していく。

園短期集中型サービス（サービスC）の導入は。

GPS端末購入など補助金は

園GPS端末購入等補助金の申請状況及び端末の貸し出しの検討は。

長寿福祉課長 現時点での申請はない。機器の貸し出しも含め、利用しやすい方法を検討したい。

町村議会1期目議員等研修会

岩花 寛之

出席者：茂呂議員、岩花議員、大石議員、渡辺議員

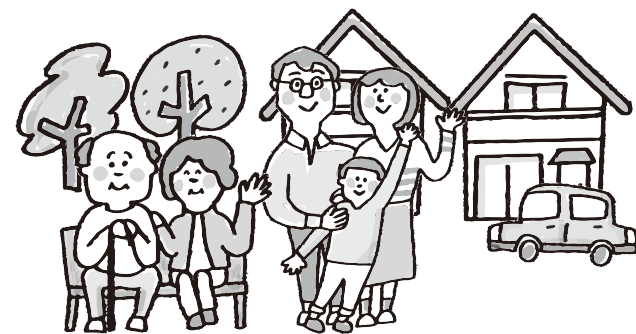
予算・決算審査は議会議員の大きな責務

10月31日(木)、福岡自治会館で行われた1期目議員研修会に参加しました。

講師に公認会計士の横田慎一氏をお招きし、「持続可能な行政サービスの為の予算・決算審議～予算書・決算書の読み解き方～」と題し、夕張市や京都市といった実際の自治体の予算・決算書を解説してもらいながら、審査の際の着眼点を詳しく指導していただきました。

行政は一般企業と違い単年度収支で決算を行うため、将来的な負担額がわかりにくいという特徴があります。そうした点を踏まえて審査する目を養わなければならないと助言されました。また、財政調整基金の繰り入れや経常収支比率に対する考え方は特に参考になりました。

上毛町の予算は年間約50億前後です。私達議員12名は、町民の皆さんからお預かりした税金が有意義に使われているかをしっかりとチェックし、将来に対しての責任を負っていることを認識して審査しなければならないと肝に銘じました。



町村議会広報研修会

高西 正人

出席者：三田議員、高西議員、田中議員、廣崎議員、岩花議員、大石議員、渡辺議員

読み手に伝わる広報づくりを

11月25日(月)、博多サンヒルズホテルで町村議会広報研修会が開催され、広報委員7名で参加しました。

講師は全国広報コンクールの審査員などを務める、一般社団法人自治体広報広聴研究所 代表理事で広報アドバイザーの金井茂樹(かないしげき)氏でした。

「伝わる議会報の企画と編集」と題した研修は、とても内容の濃いものでした。広報広聴とは、「自治体(行政・議会)と住民の両者での信頼・協働関係を構築・維持すること」ということから、地域内での関係づくりの一部分を議会広報が担っていると心に留めて、より良い地域社会の実現を目指して努力しようとのことでした。

そのための、企画づくり(課題の洗い出しや解決、目的実現のための素材収集など)や、紙面編集(情報の構造化や表現方法)について、ポイントとなる項目を学びました。

また、今後は、広報媒体の多様化から、ウェブサイトの充実も図る努力が必要とのことでした。

私たちは、7名の広報委員の協働で毎回議会だよりを作成しています。作成時に今回の研修で学んだ事を活かして、皆さんに伝わり易い議会広報を心がけたいと思います。



議員全員研修〈福島県〉

令和6年10月28日(月)～30日(水)

にし あいづ

西会津町

大石 光一

自治体DXなどで大きな成果を上げた町

10月28日、西会津町役場を議会行政視察に訪問しました。

西会津町は会津の西の玄関口と言われており、「会津の霊地」信仰の里として古い歴史と美しい自然に恵まれ、冬季間は降雪量が274cm(1月の過去10年間の平均値)と雪深い里でもある町です。

西会津町が自治体DXを力強く推進できている背景には、ICTのまちづくりで先駆的な実績を持っていることが挙げられます。1997年(平成9年)2月に福島県内で初めてケーブルテレビ局を開局し、2003年(平成15年)12月からは、ケーブルテレビインターネットサービスを開始、さらに2006年(平成18年)3月にはテレワークセンター(現1号館)を整備し、インターネットなどのICTを活用した地域ビジネスなどの起業支援を行ってきました。

そうした同町のDX戦略で大きな特徴となっているのは、会津地方の市町村と広域連携を行い、同町が取り組んできたICTのまちづくり、自治体DXに関する情報やノウハウの水平展開を積極的に行っている点です。そこには、自治体同士が手を組んで広域連携に取り組むことにより、効率的で効果的な自治体DXの推進を可能にするとの想いがあります。

上毛町も2023年(令和5年)3月に「上毛町DX推進計画」が策定され、4月にDX推進班が設置されました。期間は3年間で、町民の利便性と満足度の向上および業務の効率化を目的としてスモールステップスタートしています。(詳しくは令和5年度広報こうげ3月号に掲載しています)

今回、議員全員が自治体DXの理解を深めることのできた非常に有意義な研修でした。

ばん だい

磐梯町「道の駅ばんだい」

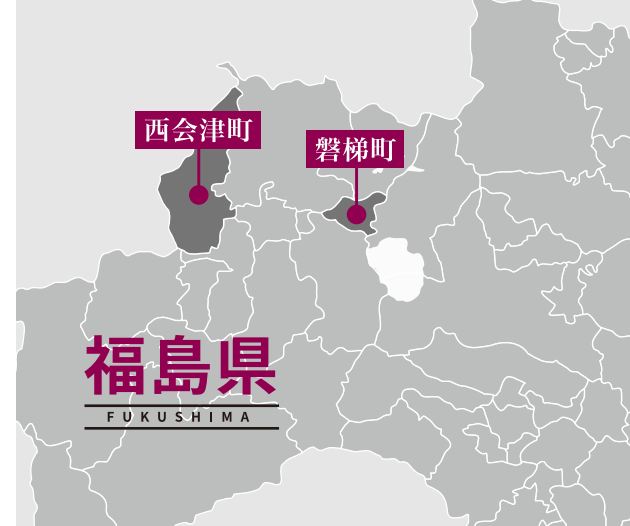
廣崎 誠治

改善対策を行い、黒字化に成功

10月29日、議会行政視察研修として「道の駅ばんだい」を訪問しました。「道の駅ばんだい」は、磐梯山などの観光地付近にあり、磐越自動車道「磐梯河東IC」より、車で約5分のとても便利な場所にあります。年々売り上げが減少していましたが、職員一人ひとりが危機意識を持って次の5つの改善対策を行い、黒字化に成功しています。

- ①経営体を振興公社化し、役場から職員が出向した。
- ②アドバイザーを雇用した。
- ③レジにカメラを設置し、購買層のデータ化を図り、それにより平日と土日の購買品目を変えた。
- ④購買品目を変えるため、販売棚を素早く移動できるようにした。
- ⑤駐車場にAIカメラを設置し、町内外利用者を把握した。

今回の研修を受けて、今後の議員活動に活かしていきたい。



西会津町データ	
町面積	228.18km ² (そのうち84%が森林)
人口 (令和6年10月1日現在)	5,440人
高齢化率	50.8%

